

令和 7 年度

第 2 回施設長・管理者等連絡協議会

福島県知的障害者福祉協会

福島県知的障害者福祉協会
令和7年度第2回施設長・管理者等連絡協議会 次第

令和7年12月24日(水) 14:00～
郡山市総合福祉センター5階集会室

1 開会宣言

2 会長挨拶

3 議 案

【報告事項】

- (1)令和7年度日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会活動報告(中間) . . . P 3
- (2)令和7年度各部会・委員会活動中間報告
- ・児童発達支援部会 . . . P 8
 - ・障害者支援施設部会 . . . P 9
 - ・日中活動支援部会 . . . P 10
 - ・生産活動・就労支援部 . . . P 11
 - ・地域支援部会 . . . P 12
 - ・支援スタッフ部会 . . . P 13
 - ・人権・倫理委員会 . . . P 17
 - ・政策委員会 . . . P 18
 - ・研修委員会 . . . P 19
 - ・福島県自立支援協議会地域生活支援部会 . . . P 20

【協議事項】

- (1)福島県けやき荘・原町共生授産園虐待事件改善報告について . . . P 23
- (2)第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島)実施報告について . . . P 27

4 その他

○JIC様のご案内について

5 閉会宣言

【 報 告 事 項 】

令和7年度 日本・東北地区・福島県知的障害者福祉協会 活動報告（中間）

（１）日本知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
リスクマネジャー養成研修会（上級）	6月5日（木）・6日（金）	東京都
全国生産活動・就労支援部会職員研修会	6月30日（月）・7月1日（火）	北海道
全国障害者芸術・文化祭	9月14日（日）～11月30日（日）	長崎県
全国知的障害関係施設長等会議	7月10日（木）・11日（金）	東京都
全国グループホーム等研修会	9月18日（木）・19日（金）	山形県
障害のある人の意思決定支援を推進するための実践研修会	9月25日（木）・26日（金）	東京都
相談支援・就業支援セミナー	10月23日（木）・24日（金）	東京都
全国障害者スポーツ大会	10月25日（土）～27日（月）	滋賀県
全国会長・事務局長会議	10月29日（水）・30日（木）	東京都
リスクマネジャー養成研修会	11月5日（水）～7日（金）	東京都
全国児童発達支援施設運営協議会	11月20日（木）・21日（金）	広島県
全国知的障害福祉関係職員研究大会	11月27日（木）・28日（金）	福島県
日中活動支援部会全国大会	12月4日（木）・5日（金）	新潟県
障害者支援施設部会全国大会	12月17日（水）・18日（木）	愛知県
部会協議会	令和8年3月5日（木）・6日（金）	東京都
全国支援スタッフ委員会代表者会議	令和8年3月5日（木）・6日（金）	東京都

（２）東北地区知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
第1回合同委員会、幹事会、理事会、事務局会	5月16日（金）	岩手県
第1回研修委員会	5月16日（金）	ZOOM
第2回研修委員会	6月12日（金）	ZOOM
令和7年度施設長・管理者等連絡協議会及び定期総会	6月16日（月）・17日（火）	山形県
第3回研修委員会	7月29日（火）	ZOOM
第1回東北フォーラム実行委員会	7月29日（火）	ZOOM
第4回研修委員会	8月20日（水）	ZOOM
第2回東北フォーラム実行委員会	8月25日（月）	青森県
第5回研修委員会	9月26日（金）	ZOOM
第3回東北フォーラム実行委員会	9月29日（月）	ZOOM
専門研修会	10月30日（木）・31日（金）	宮城県
第6回研修委員会	10月31日（金）	宮城県
第2回理事会、事務局会	11月14日（金）	ZOOM
第4回東北フォーラム実行委員会	11月18日（火）	青森県
第5回東北フォーラム実行委員会	12月15日（火）	青森県
東北フォーラム2025in あおもり	12月16日（火）・17日（水）	青森県
第6回東北フォーラム実行委員会	令和8年2月頃	未定

(3) 福島県知的障害者福祉協会

事業名	開催日時	開催場所
第1回理事会及び令和7年度第1回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）実行委員会	4月18日（金）	西郷村
令和7年度福島県知的障害者福祉協会定期総会 及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	4月25日（金）	郡山市
第1回正副会長会議	7月16日（水）	西郷村
令和7年度第2回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）実行委員会	8月26日（火）	ZOOM
第12回作文コンクール福島県選抜作品選定	※メールにて三役選定	—
第61全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）に係るボランティアスタッフ説明会Ⅰ	11月20日（木）	ZOOM
第61全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）に係るボランティアスタッフ説明会Ⅱ	11月21日（金）	ZOOM
第61全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）事前準備	11月26日（水）	郡山市
第61全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）	11月27日（木）・28日（金）	郡山市
第2回理事会	12月17日（水）	西郷村
第2回施設長・管理者等連絡協議会	12月24日（水）	郡山市
令和7年度合同研修会実行委員会	令和8年2月【中止】	—
令和7年度福島県知的障害者福祉協会合同研修会	令和8年2月【中止】	—

令和7年度 福島県知的障害者福祉協会事業活動報告

令和7年12月1日現在

- 1 日本知的障害者福祉協会及び東北地区知的障害者福祉協会等との連携を密にし、県内施設間での情報交換や組織的活動を活発化する。
 - ・協会組織と外部団体
- 第1回理事会および総会においては集合型による開催となった。
- また、福島県知的障害児者生活サポート協会についても、同様に理事会を集合で開催となった。
- 東北地区知的障害者福祉協会の理事会及び合同委員会でも集合による会議が実施され、関係者の皆様がそれぞれに参加することが出来ていた。
- その他、外部団体との連携として、「公益財団法人 福島県障がい者スポーツ協会」、「福島県障がい者社会参加推進協議会」の役員も福島県知的障害者福祉協会として会長が受けている。

1. 福島県知的障害者福祉協会	会長	江尻勝巳
同	副会長	岡崎立郎
同	同	鈴木繁生
同	事務局長	和知俊之
同	事務局員	田中春光
同	同	増井義仁
同	同	矢部美咲
2. 福島県知的障害児者生活サポート協会	理事長	岡崎立郎
同	副理事長	鈴木繁生
同	同	江尻勝巳
3. 東北地区知的障害者福祉協会	常任理事（副会長）	江尻勝巳
同	理事（児童発達支援部会）	佐藤元彦
同	人権倫理委員会委員	細井昌樹
同	政策委員会委員	渡部和哉
同	研修委員会委員	品川寿仁

- 2 障害者権利条約の理念の基で障害者総合支援法が円滑に施行されるよう県内の意見集約に努め、日本知的障害者福祉協会への提言を行う。
 - ・政策提言等への取り組み
- 「令和8年度福島県予算編成に対する各団体の要望事項等」に対し会員へパブリックコメントを実施したが、新規要望事項が0件であったため、福島県社会福祉協議会並びに福島県保健福祉部への提出はしていない。

東北地区知的障害者福祉協会理事会においては、報酬改定について協議し意見集約をし、日本知的障害者福祉協会へ提言を行った。

- 3 全国の都道府県協会の先駆的な取り組みとして、加盟全事業所に「人権擁護委員会」が設置され、人権擁護と意思決定支援に基づく利用者支援の展開が図れるよう協力する。
 - ・人権擁護と意思決定支援の取り組み
令和4年度から、全サービス対象に「虐待防止委員会の設置等」「従業者への研修の実施」「虐待防止等の為の責任者の設置」が義務化された。
福島県では人権倫理委員会で作成している「虐待防止自己チェック表」「人権擁護委員会設置に関するアンケート」などによりいち早い取り組みがされている。
- 4 部会毎の研修を充実させることにより、加盟施設・事業所の人材育成に寄与できるよう、部会・委員会活動を支援する。
 - ・研修の取り組み
各部会及び委員会においては、集合型の研修を行っている部会もあり、また、zoomなどを利用してのweb会議や研修など、各部会・委員会で工夫して活動していただいた。合同研修会については早くにお伝えした通り、今年度の全国知的障害福祉関係職員研究大会へ注力するため、中止とさせていただいた。
- 5 福島県社会福祉協議会、障がい児者福祉施設協議会との協力を密にする。
 - ・福島県が実施する「障がい児者福祉施設等への応援職員派遣支援事業」への連携協力
福島県社会福祉協議会 障がい児者福祉施設協議会が主となる体制で、障がい児者施設等でクラスターが発生した場合の応援職員派遣事業へ県協会として連携協力体制を整えた。
 - ・【障害福祉サービス事業所等危機対応支援強化事業】
「相互支援ネットワーク検討会」
福島県社会福祉協議会が県からの委託を受け、福島県内の障害福祉サービス事業所の災害時をはじめとした事業を開始。災害発生時に相互に支援できるよう、「相互支援ネットワーク検討会」を県内の障がい児者福祉施設協議会・知的障害者福祉協会・身体障害者施設協議会の3団体が連携して活動することとなった。
福島県知的障害者福祉協会からは会長・副会長の3名が参画するが今年度は活動無し。
- 6 福島県との情報交換を密にし、県が主催する各行事に協力する。
福島県障がい者施策推進協議会条例に基づき、福島県障がい者施策推進協議会の委員として岡崎立郎副会長が参画して、「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい福島県づくり条例」及び「福島県手話言語条例」に基づく取り組み状況、「第5次福島県障がい者計画」の実施状況について精査検討した。

- 7 日本知的障害者福祉協会や東北地区知的障害者福祉協会が主催する各種会議や研修会等への協力を行う。
 - ・第12回全国障がい福祉ふれあい作文コンクールの取り組み
従来の福島県教育庁からの周知協力に加えて、会員施設・事業所へも近隣の小・中学校への案内周知を依頼した。今回は15作品の応募と少なかったが、正副会長と事務局にて選定会議を開催し日本知的障害者福祉協会へ提出する作品の選定作業を実施した。
- 8 組織強化と加盟促進並びに人材確保を図るために、県協会ホームページを活用する。
 - ・広報の取り組み
協会ホームページにより、会員施設及び協会の広報活動を実施。
今年度は年度当初より会員数が増減無く114施設・事業所として活動している。
- 9 相談支援部会の発足を円滑に進める。
会員事業所に対し併設等の相談支援事業所の加入促進の取り組みを行った。相談支援事業所加盟は福島県協会の会費徴収なしで組織化する計画であるが、2事業所のみの加盟状況に変わりなく、会員に対して更なる加盟協力を仰ぎたい。
- 10 全国知的障害福祉関係職員研究大会（令和7年度福島大会）開催。成功に終わる。
 - ・実行委員会の開催
最終実行委員会を8月26日に開催した。
 - ・準備
前日準備を11月26日に実行委員で行う。
 - ・開催日（2日間）
11月27日（木）28日（金）に開催。実行委員・ボランティアスタッフにより開催し成功に終わる。
- 11 感染症の予防対策・感染防止の徹底を図るように促すと共に、感染状況によっては事業所間の連携を図り、出来る範囲で協力と応援体制が組めるように努める。
- 12 その他
令和5年度において、利用者への権利侵害（虐待）が2件発生している。
協会として聞き取り調査を行い、現在2件の事業所からは改善状況報告書を提出していただき、協会会員と共有する。

児童発達支援部会

令和7年度中間報告

報告者：児童発達支援部会部会長 佐藤元彦（あるく）

（日本知的障害者福祉協会児童発達支援部会）

第1回部会 2025年6月2日（月）13：00～16：30（対面・集合型開催）

東京都浜松町（日本知的障害者福祉協会内にて）

第2回部会 2025年9月3日（水）10：00～12：30（オンライン会議）

第3回部会 2025年12月15日（月）11：00～15：00（対面・集合型開催）

東京都浜松町（日本知的障害者福祉協会内にて）

令和7年度全国知的障害関係施設長等会議 2025年7月10日（木）11日（金）

東京国際フォーラム

第22回全国児童発達支援施設運営協議会 広島大会 2025年11月20日（木）21日（金）

広島県広島市

（東北地区知的障害者福祉協会）

第1回理事会 2025年5月16日（金）13：00～18：00（対面・集合型開催）

岩手県盛岡市（アイーナにて）

令和7年度東北地区知的障害者福祉協会定期総会・施設長等連絡会 2025年6月16日（月）
17日（火）

山形県山形市

第2回理事会 2025年11月14日（金）13：00～16：00（オンライン会議）

（福島県知的障害者福祉協会）

第1回理事会 2025年4月18日（金）10：00～12：00（対面・集合型開催）

西郷村太陽の国

令和7年度福島県知的障害者福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会
2025年4月25日（金）9：30～12：00

郡山市（産業福祉会館）

福島県知的障害者福祉協会・児童発達支援部会春期研修会 2025年5月10日（土）

白河市（白河市図書館）

福島大会実行委員会 2025年8月26日（火）13：00～15：00（オンライン会議）

第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島）2025年11月27日（木）28日（金）

これからの実施計画

児童発達支援部会冬期研修会（予定）

東北6県合同でのアンケート調査実施（予定）

令和7年度 障害者支援施設部会中間報告

部会長 佐川 滋

1. 各部会活動

(1) 福島県の部会活動

①7/1(火)

「施設見学・情報交換会」を西郷村さざなみ学園で開催。

・15施設22名の参加。

・第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会に係る当部会の講師及び大会概要説明、「ボランティア職員」を引き受けてくれる施設の選定を行った。

②7/21(月)

「7/1に話し合った内容を会員施設にメールで送信。

③9/10(水)

全国大会のボランティアを引き受けてくれた施設に「分科会の役割分担及び行程表」「大会要項」「8/26に開催された協会役員会の話し合いの内容」等についてメールで伝達。

④9/27(土)

9/25(木)に開催された「東北地区知的障害者福祉協会 第2回障害者支援施設部会協議会」で話し合われた内容をメールで会員施設に送信。

⑤11/27(木)、28(金)「第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会福島大会が郡山市の「ビッグパレットふくしま」で、情報交換会が「ビューホテルアネックス」で開催されました。部会からボランティア職員を派遣し無事終了致しました。

(2) 東北地区部会活動

①6月16日(月)、17日(火)、山形県において「東北地区知的障害者福祉協会 定期総会・施設長等連絡会」が対面形式で開催されました。

(3) 全国部会活動

①7月10日(木)、11日(金)、東京都において「全国知的障害関係施設長等会議」が対面で開催されました。

②令和7年12月17日(水)、18日(木)、愛知県名古屋市にて「障害者支援施設部会全国大会」が対面形式で開催。

令和 7 年度 日中活動支援部会中間報告

部会長 小沼貴久

1. 職員研修 (実施済み)

- ・ 日時: 令和 7 年 8 月 29 日(金) 13:15～15:15
- ・ 形式: オンラインセミナー
- ・ テーマ:
 - 講演:「障害者支援での先進技術の活用について一高齢分野、特殊教育の実践から考える」
- ・ 講師: 社会福祉法人 清水基金 課長 岡田 裕樹 氏
- ・ 参加状況:
 - 事業所: 15 事業所
 - 人数: 24 名
- ・ 研修後の評価:
 - アンケートを実施し、12 件の回答あり。
 - 「IT 活用がこんなにも便利なのか」「新たな分野の話で勉強になった」「IT が事務以外での活用ができることが分かった」などの記載があり、IT について改めて学び、現場での活用を考えるきっかけとなった有意義な研修会であった。

2. 視察研修会

日中活動支援部会 活動

日中活動支援部会は、「令和 7 年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)」の開催準備を中心に、実施しています。

日付	活動内容	備考
令和 7 年 4 月 18 日	令和 7 年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)に係る実行委員会開催	
令和 7 年 8 月 26 日	令和 7 年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)に係る実行委員会開催	
令和 7 年 8 月 29 日	令和 7 年度 福島県日中活動支援部会職員研修会	ZOOMにて実施
令和 7 年 11 月 4 日	令和 7 年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会) 第 5 分科会担当役割内容説明会	ZOOMにて実施
令和 7 年 11 月 27・28 日	令和 7 年度 全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島大会)開催	
令和 7 年 12 月 4・5 日	令和 7 年度 全国知的障害福祉日中活動支援部会全国大会(新潟大会)	

令和 7 年度 生産活動・就労支援部会中間報告

生産活動・就労支援部会

部会長 斎藤裕二

○ 事業計画に対する進捗等

〔事業等〕

- ・ 全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島大会）

期 日：令和 7 年 11 月 27 日（木）・28 日（金）

開催地：ビッグパレットふくしま（郡山市）

2 日間の大会運営に携わり、2 日目の分科会では、スマートインクルージョン推進機構代表理事竹村氏を講師として迎え、「障害者支援施設における IT・AI 導入と工賃向上」をテーマに第 6 分科会を開催した。

開催までに実行委員会への参加に加え、講師先生との打合せ及び部会内での打合せを zoom、電話、メール等で重ね、実施した。

〔会議・研修等〕

下記の参加予定の各種会議・研修等については、参加者等の調整まで至らず、参加を見送った。

- ・ 東北地区知的障害者福祉協会定期総会施設長連絡会（R7. 6. 16-17 山形市）
- ・ 全国生産活動・就労支援部会職員研修会（R7. 6. 30-31 北海道）
- ・ 全国知的障害関係施設長等会議（R7. 7. 10-11 東京国際フォーラム）

令和 7 年度 地域支援部会中間報告

地域支援部会 部会長 荒 里美

1. 福島県部会活動

6 月 12 日(木)	オンライン会議	第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会 に向けて、東洋大学 高山先生と部会メンバ ーで分科会について打ち合わせ
7 月 1 日(火)～ 7 月 31 日(木)		福島県内のグループホーム利用者への満足度 調査の実施
9 月 3 日(水)	社会福祉法人 育成会 本部	7 月に実施したグループホーム利用者への満 足度調査の集計
10 月 6 日(月)	オンライン会議	第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会 に向けて、東洋大学 高山先生と部会メンバ ーで分科会について打ち合わせ
10 月 16 日(木)	あさかあすなろ荘	第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会 に向けて、役割分担等を協議
11 月 27 日(木) ～ 11 月 28 日 (金)	ビッグパレットふ くしま	第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会 分科会テーマ 「毎日を大切に生きる～利用者の望む暮らし と私たちの仕事～」 講師 東洋大学 高山 直樹 教授 分科会参加人数 301 名

2. 東北地区部会活動

9 月 18 日(木) ～ 9 月 19 日 (金)	第 36 回全国グル ープホーム等研修 会東北大会 in 山 形	開催場所 山形テルサ 参加者 部会長 荒里美(第4分科会司会)
----------------------------------	---	------------------------------------

3. 今後の活動予定

第 61 回全国知的障害福祉関係職員研究大会や 7 月に実施した満足度調査の振り返りを部会
メンバーで実施。その後、満足度調査結果を HP で公表予定。

令和7年度 支援スタッフ部会 年間活動報告（12月5日現在）

事業名	開催年月	内容	開催場所
総会前 支援スタッフ部会 役員会	5月8日	・令和6年度 事業報告及び収支決算報告 ・令和7年度 事業計画・予算確認 ・令和7年度 スタッフ部会総会について ※前年度役員で開催	ZOOM 開催
令和6年度 支援スタッフ部会 総会	5月13日	・令和6年度 活動報告及び収支決算報告 ・令和7年度 活動計画・予算確認 ・役員改選 ・令和7年度 部員顔合わせ	郡山総合福祉センター 5階 集会室
第1回 支援スタッフ部会 役員会	6月20日	・令和7年度役員顔合わせ ・令和7年度年間計画及び役員マニュアルの確認 ・広報活動について ・各圏域活動について ・令和7年度研修会について ・東北フォーラムについて ・第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会について	ZOOM 開催
第2回 支援スタッフ部会 役員会	7月23日	・第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会について ・東北フォーラムについて ・令和7年度研修アンケートの実施について ・各地区の活動状況について	ZOOM 開催
第3回 支援スタッフ部会 役員会	8月20日	・令和7年度各圏域活動予算のお渡し ・広報活動に向けて ・東北フォーラムに向けて ・各地区活動に関するあり方について	あぶくま更生園
第4回 支援スタッフ部会 役員会	9月24日	・令和7年度研修会について アンケートの結果、テーマ・講師選定 ・第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会について ・東北フォーラムに向けて 実行委員より報告、県発表スライドショー作成について ・今後の運営について(予算面)	あぶくま更生園
第5回 支援スタッフ部会 役員会	11月12日	・今年度予算について(協会の回答をもとに協議) ・協会理事会に向けて(中間報告の協力依頼) ・第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会について ・東北フォーラム県発表の進捗状況について ・令和7年度研修会について	ZOOM 開催

【各地区の活動報告】

○県北地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:17 名

日程	活 動 内 容
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・8 月 1 日	・ 顔合わせ、会議、意見交換（参加：11 名、ZOOM 開催）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力

○郡山地区／施設・事業所数:14 箇所、委員数:14 名

日程	活 動 内 容
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・8 月 25 日	・ 施設見学（参加：9 名／場所：あぶくま更生園・おおくま共生園）
・9 月 25 日	・ 施設見学、お悩み意見交換会（参加：6 名／場所：花かつみ豊心園）
・10 月 28 日	・ 施設見学、事例検討会（参加：7 名／場所：多機能型事業所田村）
・11 月 25 日	・ 施設見学、チームワーク研修（参加：5 名／場所：はなのマーチ・ゆめのマーチ・にじのマーチ）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力

○県中地区／施設・事業所数 6 箇所、委員数:6 名

日程	活 動 内 容
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・10 月 20 日	・ 会議（参加：5 名／場所：障害福祉サービス事業所カノン）
・11 月 7 日	・ 県中、県南合同施設見学（参加：5 名／場所：さざなみ学園）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力

○県南地区／施設・事業所数:17 箇所、委員数:19 名

日程	活 動 内 容
・7 月 22 日	・ 会議（参加：6 名／場所：甲子の里希望の家）
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・9 月 9 日	・ 会議（参加：6 名／場所：甲子の里希望の家）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力
・11 月 17 日	・ 県中、県南合同施設見学（参加：8 名／場所：さざなみ学園）

○会津地区／施設・事業所数:5 箇所、委員数:5 名

日程	活 動 内 容
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・9 月 10 日	・ 施設見学（参加：4 名／ゆきわり荘）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力

○いわき地区／施設・事業所数:11 箇所、委員数:11 名

日程	活 動 内 容
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力
・10 月 20 日	・ 情報交換会（参加：7 名／ZOOM 開催）

○相双地区／施設・事業所数:18箇所、委員数:18名

日程	活 動 内 容
・7 月 9 日	・ 施設見学（参加：8 名／場所：光洋愛成園、ワークセンターさくら）
・8 月	・ 支援スタッフ部会主催研修アンケートへの協力
・9 月 17 日	・ 施設見学（参加：8 名／場所：アグリパークとみおか）
・10 月～11 月	・ 東北フォーラム県発表ムービー作成のための素材提供協力

【特記事項】

○支援スタッフ部会総会

5月13日（火）、対面形式で実施。36事業所38名（委任31名）が参加し、審議内容については賛成多数にて可決となった。また、総会後に地区毎に分かれて顔合わせを行い、地区の年間予定の確認を行った。役員改選となるため、前年度役員と今年度役員が準備段階から集合し引継ぎを行った。

○第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会

支援スタッフ部会からは、16名の職員にボランティアスタッフとしてご協力いただいた。分科会は人権倫理委員会と事前に打ち合わせも実施できたため、スムーズに進行することができた。

全体的な意見としては「最初は不安だったが当日は楽しくお手伝いできた」「とてもいい経験になった」など前向きな意見が多数聞かれた。

○東北フォーラム2025in あおもり

12月16日（火）～17日（水）リンクステーション青森にて開催予定。

福島県としての発表はスライドショーでの発表とし、「仕事のやりがい」～みなさんのモチベーションについて～をテーマに10月～11月の期間を使い、県内事業所へ素材提供の依頼を行い、100枚を超える素材協力をいただいた。分科会では、青森県と共同で「高齢化」をテーマに行う予定で、実行委員を中心に円滑に準備を進められた。

○各地区の活動

地区ごとに会議や意見交換会・勉強会・施設見学を行い、意見交換をしながら交流を深めた。コロナ禍で活動ができていなかった圏域でもオンラインで顔合わせや説明会を行うことができ、来年度以降の活動に繋がる活動ができた。

○『現場の力』パワーアップ学習会

令和8年1月30日（金）ZOOM開催にて予定している。昨年度まで「行動支援スキルアップ学習会」として約10年間同テーマでの開催となっており、講師も毎年同じとなっていたことから、役員内でも協議し、より現場の声を反映させた研修会にしたいという思いから研修名と研修テーマを刷新した。8月下旬に各施設の支援スタッフ部員宛に研修アンケートの実施を行った結果、「メンタルヘルス」「職場の人間関係」というテーマが多く上がり、「職員間の良好な関係性の構築とチームワーク」というテーマで研修を開催することになった。講師には、研修アンケートで推薦のあった、「社会福祉法人安積愛育園 アシスタントマネージャー 高杉 恭平氏」に依頼し承諾を得ている。部会長と役員数名とで講師打ち合わせを行ったうえで、有意義な研修会にしていきたい。

12月中に案内を発送予定。パソコン台数は100台限定とする（講師1台、事務局1台、役員1台含む）講義時間は1時間20分ほどを予定しており、その他、グループワークや発表も取り入れ、8月下旬に実施したアンケートの集計結果もお伝えする予定。

研修テーマアンケートの内容は多岐にわたり、来年度以降もテーマ考案に役立てていきたいと考えている。

○運営面

・前年度役員会でスタッフ部会規則・役員マニュアルを作成した。内容を今年度バージョンに改定したため、今後引き継いでいく。

・今年度予算の面で、9月開催の役員会時点で会計から相談があり、今年度予算が年度末まで厳しい状況とのことで、研修会の開催が難しいのではないかとの見解が出された。理由としては、5月の総会時の出費の部分で、前年度役員と新年度役員分の日当、交通費を算出したことが大きく、また、圏域が実質1つ増えたことで圏域予算2万円が例年より多く出ているためであった。10月に入→15にすぐに協会事務局に相談し、三役（会長・副会長2名）

にもご検討、ご助言いただき、各圏域予算2万円が配布されているが、使用していない分を戻し入れることで残りの活動や研修会の開催も予算内で行える見込みとなった。

・役員内であがった意見として、いざ自分が役員になったときに「地区活動をどのように運営すれば良いか」「引継ぎをどのように行ったら良いか」「各地区の運営方法や活動内容もバラツキがある」といった内容があげられ、今後の運営を誰もがしやすいようにするために、「運営ガイドライン」を作成することとし、役員内で分担し作成していく予定。

○広報活動

いわき相双地区の再編成（いわき相双は一つの地区となっているが、面積が広く集まる際の移動距離が長いことや加盟施設が多いため、いわき地区と相双地区に区切る）を行ったことで、役員人数も1名増えたため、新役職として「広報」を設置。今年度末に第1号の広報発行を目標に、準備を進めている。名称は「スタッフ部会だより」とし、役員紹介・会長挨拶・部会長挨拶・各地区活動報告・全国大会報告・研修会報告・東北フォーラム報告など盛りだくさんの内容を予定しており、より支援スタッフ部会の活動のを知っていただき、部会活動をさらに盛り上げていけるようにしていきたい。

今後、記事の内容によって各部会等に寄稿のご協力をいただくこともある。今回は江尻会長に写真と記事の提供を依頼した。

○東北地区支援スタッフ部会

10月3日に第1回東北地区支援スタッフ部会各県代表者会議がオンラインで開催された。各県支援スタッフ部会の活動報告や情報交換を行った。特に宮城県、山形県では「利用者活動」を積極的に行っており、職員間のみならず利用者間の交流等にも力を入れているとのことだった。

10月29日～30日に開催された、日本知的障害者福祉協会全国会長・事務局長会議において、支援スタッフ委員会の設置依頼が樋口会長より書面にて発行されたことに伴い、東北地区においても来年度以降の事業計画の明確化など理事会にて提案され、研修内容や現場職員の育成に力をいれてもらう方針となった。

そのため、東北6県の部会長の対面でのつながりと来年度事業計画などの話し合いの実施のため、12月15日に青森市にて第2回東北地区支援スタッフ部会各県代表者会議が開催される運びとなり、部会長後反が参加予定。

【総 評】

- ・役員会を定期的に開催し、広報活動の開始や研修内容の刷新など新しい取り組みにも着手することができた。会議の際には案内文の発送や資料作成、会議の開催についても事務局の協力を得ながら円滑に行うことができた。
- ・予算に関しても、迅速に事務局に相談し、対応を検討することができたため、今後も事務局と連携をうまくとりながら運営に努めていきたい。
- ・他部会と役員改選時期がずれていることで、全国大会についても不安があったものの、情報共有をはかりながら連携をとり、滞りなく大会運営に尽力できた。また、今後役員改選時期についてや、引継ぎの在り方についても検討し、ガイドラインの策定などをもとに、誰もが支援スタッフ部会の運営に携わったときに気持ちよく活動できる体制を整えていきたいと考えている。
- ・来年度に向けては、東北地区支援スタッフ部会とも連携をとり、東北フォーラムのみならず現場職員の育成に関してプラスとなる動きを東北地区でも開拓していくとともに、県内においては、各地区間でも連携し、学習や体験の機会を作りながら、現場職員がより利用者目線で意思決定支援や人権擁護に積極的な支援を展開し、虐待や人権侵害のない障害福祉の現場づくりをおこなっていけるような取り組みを考えていきたい。

以上

支援スタッフ部会 部会長
社会福祉法人つばさ福祉会

令和7年度 人権・倫理委員会中間報告

委員長 細井 昌樹

1. 人権倫理委員会 開催

令和7年8月21日(木) zoom 会議

- ・年間スケジュールの確認
- ・全国知的障害者福祉関係職員研究大会について
- ・委員長と副委員長の選任について

2. 虐待防止自己チェック表Ver. 6の実施

各事業所での実施期間 令和7年10月6日から11月7日 まで

提出期限 令和7年12月5日(金)

現在集計中

※システムについて問い合わせがあり、改善が必要。

3. 意思決定支援実例集

- ・令和7年度も実例集の取り組みを一旦停止させて頂きました。

4. 全国知的障害者福祉関係職員研究大会

- ・地域支援スタッフ部会と共に28日の第3分科会を担当した。

日 時 令和7年11月27日(木)・28日(金)

場 所 ビックパレットふくしま

講 義 「福祉現場と意思決定支援～これまでと、これから～」

講 師 東洋大学 福祉社会デザイン学部学部長 志村健一 氏

参加者 299名(第3分科会)

※集合研修にて、講話と各事業所からの質問事例を基にディスカッションを行った。

5. 人権・倫理委員研修会(案)

日 時 令和8年2月20日(金)

場 所 コミュタン福島 学習室A

講 義 「風通しの良い職場づくり」に関する内容

講 師 社会福祉法人つばさ福祉会 カラーの夢 管理者 五島 氏

社会福祉法人安積愛育園 あさかあすなろ荘 リーダー 棚木 氏

参加者 100名以内

令和7年度 政策委員会 中間報告

政策委員会

渡部 和哉

1 情報共有

- ① 令和7年 4月 2日 日本知的障害者福祉協会 第6回政策委員会の資料の情報共有
- ② 令和7年 9月 2日 日本知的障害者福祉協会 第2回政策委員会の資料の情報共有
- ③ 令和7年11月14日 日本知的障害者福祉協会政策委員会へ東北地区の政策委員会が要望として提出する内容の情報共有

2 アンケート調査

- ① 令和7年 4月18日 東北地区知的障害者福祉協会政策委員会アンケート調査実施（4／18～5／9）

3 会議・研修会

- ① 令和7年 5月16日 東北地区知的障害者福祉協会合同委員会 出席
岩手県民情報交流センター
アンケート調査結果について
- ② 令和7年11月 5日 東北地区政策委員会 オンライン開催 欠席
日本知的障害者福祉協会政策委員会への要望の
取りまとめ
- ③ 令和7年11月26日～28日
第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会

令和7年度 研修委員会 中間報告

福島県知的障害者福祉協会

研修委員長 品川寿仁

副委員長 深谷亘弘

1. 福島県知的障害者福祉協会に関する事項

①合同研修会の企画・立案

第61回全国知的障害者福祉関係職員研究大会福島大会開催の為、中止

②各部会・委員会ごとの研修会

各部会からの報告のとおり

③「福島県障がい者施策推進協議会」へ参画する

岡崎副会長が参画した。

2. 東北地区知的障害者福祉協会に関する事項

①東北地区知的障害者福祉協会 第1回合同委員会

令和7年5月16日(金) 10:30～12:30 いわて県民情報交流センター アイーナ

東北地区令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画(案) 各委員会報告

②東北地区知的障害者福祉協会 定期総会

令和7年6月16日(月) 14:00～15:30 山形県山形市 山形テルサ

③令和7年度東北地区知的障害者福祉協会 専門研修

～個別支援計画から、支援の質を高めよう～

令和7年10月30日(木)～31日(金) 宮城県 障害者福祉センター

講師 東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 教授 竹之内章代 氏

④令和7年度東北地区知的障害者福祉協会 職員研修大会

東北フォーラム2025in あおもり ～この仕事の夢・喜びを東北から発信～

令和7年12月16日(火)～17日(水) 青森県青森市 リンクステーションホテル青森

※東北未来塾について

研修体制の見直し・予算化に向け、東北地区研修委員にて素案作成の指示あり。

令和8年度に計画・予算化するかを今後の理事会等で検討となる。

3. 日本知的障害者福祉協会に関する事項

①第36回令和7年度全国グループホーム等研修会 東北地区大会

令和7年9月18日(木)～19日(金) 山形県山形市 山形テルサ

②第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会(福島開催)

令和7年11月27日(木)～28日(金) ビックパレットふくしま

参加者 約850名



【1】福島県自立支援協議会地域生活支援部会

5/14 第1回福島県自立支援協議会 地域生活支援部会

- ・ R7 年度活動方針 ・ 地域生活移行促進コーディネーター派遣事業について
- ・ 第7期福島県福祉計画の確認 地域生活移行目標 60名/1940名 (R6~8)

9/5 障がい者支援施設等入所者の地域生活への移行促進研修会 (郡山市ハイテクプラザ)

対象：入所施設、基幹相談支援センター、障がい福祉課等 85名参加

講師：PWC コンサルティング合同会社 吉野 智様

(元厚生労働省障がい福祉専門官)

【2】地域生活支援部会 (部会長として以下の会議に出席)

10/8 福島県自立支援協議会 運営委員会

- ・ 第7期福島県障がい福祉計画、第3期福島県障がい児福祉計画の実施状況
- ・ 福島県自立支援協議会各部会における協議事項について

【3】住宅確保要配慮者あんしん居住支援専門部会 杉妻会館

8/29 R7 年度あんしん居住支援専門部会会議

- ・ R6 年度居住支援部会事業報告 各圏域の取組など
- ・ R7 年度居住支援部会事業計画
- ・ 改正住宅セーフティーネット法に関する動きについて

目的：高齢者、障がい者、子育て世代等、住宅確保に配慮が必要な方の支援

課題：賃貸住宅の契約の際、連帯保証人等の書類多く契約のハードルが高い。

契約者が亡くなった時の残置物処理が大変。

<今後の予定>

R7 年 12/9 人材育成部会との情報交換 (郡山市総合福祉センター)

R8 年 1/21 第2回 福島県自立支援協議会 運営委員会

2/12 第2回 福島県自立支援協議会

2 月 地域生活移行の取り組み状況確認 施設訪問

R7 年度 中核的支援人材養成研修参加者による伝達研修

R8 年 1/16 13:30～ オンライン 中核的支援人材養成研修の目的と概要について

わくわくネットいわき：新妻陽子氏

【受講報告】安積愛育園：三瓶恵理奈氏 わくわくネットいわき：原 友広氏

「新たな住宅セーフティネット制度」とは

- 高齢者、障害者、子育て世帯等、住宅の確保に配慮が必要な方は今後も増加する見込みですが、一方で、民間の空き家・空き室は増加していることから、**2 登録住宅の改修・入居への経済的支援**、**3 住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の供給**の3つの柱から成り立っています。

※ 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット法)の一部を改正する法律(平成29年4月26日公布 10月25日施行)

制度創設の背景

住宅確保要配慮者の状況

- 高齢者の単身世帯が大幅増
- 若年層の収入はピーク時から1割減
- 子どもを増やせない若年夫婦(家が狭いことが理想の子ども数を持たない要因の一つ)
- ひとり親世帯は特に低収入
- 家賃滞納等への不安から単身高齢者、生活保護受給者等に対して入居拒否感のある大家等が一定数存在

住宅ストックの状況

- 総人口が減少する中で公営住宅の大幅増は見込めない
- 民間の空き家・空き室は増加傾向

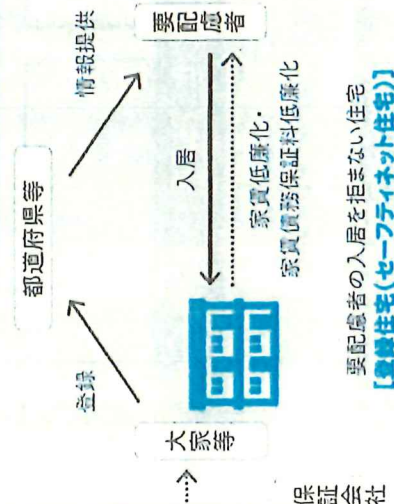
空き家・空き室を活用し、住宅セーフティネット機能を強化

新たな住宅セーフティネット制度の3つの柱

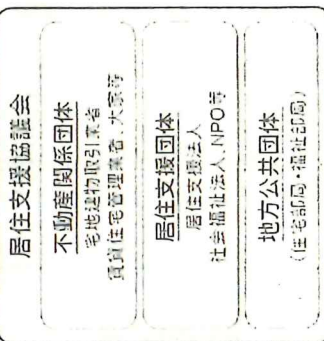
2 経済的支援

- 国と地方公共団体等による支援
- 改修費補助 (国の直接補助あり)
 - 家賃低廉化補助
 - 改修費融資 (住宅金融支援機構(JHF))
 - 家賃債務保証料 低廉化補助

1 登録制度



3 マッチング・入居支援



居住支援活動への補助

公営住宅の現状と課題

- 利便性の高い公営住宅に対するニーズは依然として高い。
- 一方で、募集したものの入居に結びつかない住戸が多く、需給のミスマッチが生じ、住宅確保要配慮者の入居ニーズに応えられていない。
- 公営住宅の老朽化に伴う建替・管理費用の捻出や公営住宅を管理する自治体職員の人員確保も課題。

- 民間賃貸住宅は、様々な立地・築年数・広さ・設備があり、これらをSN住宅として活用(家賃等低廉化)することで、要配慮者の入居ニーズにきめ細やかに対応し、公営住宅とあわせ、重層的な住宅SN機能が構築可能。
- SN住宅の活用により公営住宅の管理戸数を減らすことが可能となり、建替費用、自治体職員の負担が軽減。
- 公営住宅の建替・管理等費用とSN住宅家賃低廉化補助費用のランニングコストは同等。

【 協 議 事 項 】

(1) 福島県けやき荘・原町共生
授産園虐待事件改善報告について

報告日：令和7年9月3日（水）

福島県知的障害者福祉協会
会 長 江尻 勝巳 殿

福島県 けやき荘

利用者への権利侵害等の改善状況報告書

利用者への権利侵害等の発生後の対応状況等について、下記のとおり報告します。

1 再発防止策の実施状況

・「虐待発生・発見時対応マニュアル」「虐待発生時手順書」の見直しを行い、職員に周知しました。また、権利擁護に係る内部研修（ジェントルティーチング、小さな出来事、「お客様への虐待防止に関する指針」の読み合わせ）を実施しました。
・「職員倫理綱領」を改正、それに伴い「けやき荘行動規範」の内容を変更し、毎朝ミーティングで唱和しています。
・利用者に対しての聴き取りを定期的に実施。聴き取り者は虐待防止委員の他、係長や主任等の2名で実施しています。現在、虐待と推測される案件はありません。
・職員全員を対象とした「職員セルフチェックリスト」を毎月提出。支援について振り返る機会になっています。
・入浴時に身体状況を多数の職員で身体を確認し記録をしており、何らかの異変があればすぐに看護師と連携し必要な確認、処置等を実施出来る体制を整えました。
・閉鎖的な環境を防ぐため、管理者、サービス管理責任者が不定期にラウンドしています。
・法人主催のアンガーマネジメントの研修に全職員参加しました。
・「小さな出来事」として、各委員会で違和感のある支援について各職員間で共有し、支援を検討しています。
・管理者が障がい特性への理解や意思決定支援等の権利擁護の内部研修会を行い、再発防止に努めています。

2 権利侵害等を受けた利用者の現在の様子

・身体の火傷については、ほぼ完治しています。職員を怖がることも無く、衣類の着脱支援も嫌がることはありません。睡眠も安定しており生活全般を見る限り、虐待を受けた精神的苦痛は表面上見られていませんが、今後も本人支援として心身のケアに努めます。
・事件後、家族（弟夫婦）が初めて施設に来所し、ご本人と面談しました。面談し日々の様子を聞くことで安心した様子が見られました。今後も話す機会を持ちながら信頼関係を築いて行きたいと考えております。

3 その他

報告日：令和7年9月29日（月）

福島県知的障害者福祉協会
会 長 江尻 勝巳 殿

原町共生授産園

利用者への権利侵害等の改善状況報告書

利用者への権利侵害等の発生後の対応状況等について、下記のとおり報告します。

1 再発防止策の実施状況

1. 職員教育について
① 外部講師による研修及び外部研修（令和6年度 13件、令和7年度 5件）
② 内部会議による確認及び検証（毎月の全体会議にて継続）
・法人の職員倫理綱領及び服務規律の読み合わせ
・職員のサービス向上チェックリストにて検証
・利用者の身体チェックについての報告
・身体拘束についての協議
③ 職員間のコミュニケーションの向上について
・外部講師によるコミュニケーションスキルの向上
・個人面談及びメンター制度を活用し、相談しやすい環境を図る
④ 支援の対応の観察及び評価について
・正しい支援が行われているかを職員相互による確認を行い、妥当性の評価を実施
2. 支援業務の検討について
・日課の業務の役割分担等について、見直しを実施し職員の負担軽減を図っている
3. 支援職員の増員について
・支援員の負担軽減を図るため増員を実施（常勤換算 11.1名→12.6名）

2 権利侵害等を受けた利用者の現在の様子

被害を受けた利用者については、病院を退院後そのまま家庭に帰省する。
帰省中、ご家族と外出した際に食べ物を喉に詰まらせ亡くなられる。
令和7年5月に被害利用者のご家族と法人との間で示談が成立する。

3 その他

今後も福祉業界の人員不足や多忙な業務により職員の負担増加が考えられます。
忙しさや人間関係の悩みからストレスや疲れによる感情のコントロールが難しくなるため言動に注意をしていきます。また、職員の価値観・動機・方向は多様であり、共通認識を図るため
障害の知識及び理解についての教育・研修体制の充実を継続します。
職員同士の連携が良質の支援を左右するため、働きやすい環境と風通しの良い職場を構築します。
安心・安全なサービスの提供と顧客満足度が向上のための改善に取り組み、再発防止と信頼回復に努めます。

(2) 第61回全国知的障害福祉
関係職員研究大会（福島）実施
報告について

2 県別参加者数 ※主催者・事務局スタッフ除く

1	北海道	43
2	青森県	16
3	岩手県	2
4	宮城県	15
5	秋田県	28
6	山形県	2
7	福島県	66
8	茨城県	27
9	栃木県	20
10	群馬県	45
11	埼玉県	14
12	千葉県	75
13	東京都	18
14	神奈川	36
15	新潟県	5
16	富山県	10
17	石川県	6
18	福井県	17
19	山梨県	9
20	長野県	4
21	岐阜県	7
22	静岡県	14
23	愛知県	16
24	三重県	19
25	滋賀県	3
26	京都府	4
27	大阪府	12
28	兵庫県	13
29	奈良県	0
30	和歌山県	2
31	鳥取県	1
32	島根県	1
33	岡山県	13
34	広島県	18
35	山口県	3
36	徳島県	13
37	香川県	20
38	愛媛県	13
39	高知県	4
40	福岡県	8
41	佐賀県	6
42	長崎県	7
43	熊本県	3
44	大分県	10
45	宮崎県	4
46	鹿児島	14
47	沖縄県	7
	合計	693

分科会会場

	分科会		会場	座席	参加者
午前	第Ⅰ	児童発達支援部会	コンベンションホールB	シアター	90
	第Ⅱ	地域支援部会	コンベンションホールA	シアター	301
	第Ⅲ	人権・倫理委員会 支援スタッフ部会	中会議室A、B	シアター	299
午後	第Ⅳ	障害者支援施設部会	コンベンションホールB	シアター	173
	第Ⅴ	日中活動支援部会	コンベンションホールA	シアター	326
	第Ⅵ	生産・就労支援部会	中会議室A、B	シアター	191

11月27日	昼食弁当(運営)	136
11月27日	情報交換会 参加者	328
11月28日	昼食弁当(運営)	140
11月28日	昼食弁当(参加)	390

※弁当の予備は5個(総数+5)

功労者表彰受賞者		
表彰者	表彰式	
442	出席	96
	欠席	346

シャトルバス		
11月27日	郡山駅⇄ビッグパ レット(往路)	453
11月27日	郡山駅⇄ビッグパ レット(復路)	438
11月28日	郡山駅⇄ビッグパ レット(往路)	426
11月28日	郡山駅⇄ビッグパ レット(復路)	422

ボランティア スタッフ	109
----------------	-----

合計参加者	842
-------	-----

一般	693
スタッフ	109
実行委員	18
日本	8
東北	4
リーオンミー	2
分科会講師	7
厚労省	1
	842

第61回全国知的障害福祉関係職員研究大会（福島）

【1日目】11月27日（木） 全体会（ビッグパレット：多目的展示ホールC） 総合同会：和合敦子様

時間	スケジュール
12:00	受付
13:00	開会式
13:02	開会宣言 東北地区知的障害者福祉協会 会長 中村伸二
13:05	主催者挨拶 日本知的障害者福祉協会 会長 樋口幸雄
13:10	来賓祝辞1 福島県副知事 佐藤宏隆 様
13:13	来賓祝辞2 郡山副市長 野崎弘志 様
13:16	来賓紹介 福島県副知事 佐藤宏隆 様 郡山副市長 野崎弘志 様 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長 大竹雄二 様 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 副会長 高野武彦 様
13:20	主催者紹介 日本知的障害者福祉協会 会長 樋口幸雄 日本知的障害者福祉協会 副会長 北川聡子 日本知的障害者福祉協会 副会長 榎本博文 日本知的障害者福祉協会 副会長 武元典雅 東北地区知的障害者福祉協会 会長 中村伸二 東北地区知的障害者福祉協会 副会長 三浦靖之 福島県知的障害者福祉協会 会長 江尻勝巳 福島県知的障害者福祉協会 副会長 岡崎立郎 福島県知的障害者福祉協会 副会長 鈴木繁生
13:25	祝電披露
13:30	令和7年度知的障害福祉事業功労者表彰授賞式 代表 社会福祉法人いわき福音協会 はまなす荘 栗村嘉起様
13:45	行政報告 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長 大竹雄二 様
14:45	休憩
15:00	基調講演 辻井いつ子 様 演題：「明るく、楽しく、あきらめない」 講師：辻井いつ子 ～辻井伸行さんとのエピソードを通し、子どもの才能のを見つけ方や伸ばし方、 明るく楽しくあきらめない生き方について～
16:30	閉会式
16:32	開会宣言 東北地区知的障害者福祉協会 副会長 三浦靖之
16:37	次期開催県挨拶 香川県知的障害者福祉協会 副会長 岡慎也 様
16:40	閉会挨拶 福島県知的障害者福祉協会 会長 江尻勝巳
16:45	事務連絡 総合同会 和合敦子 様
16:50	移動

【1日目】11月27日（木） 情報交換会（郡山ビューホテル・アネックス4階『花勝見』）

18:00	受付
18:30	情報交換会開始
18:35	開会挨拶 福島県知的障害者福祉協会 副会長 鈴木繁生
18:40	乾杯 東北地区知的障害者福祉協会 副会長 三浦靖之
19:00	ご歓談
19:30	アトラクション（レイグリッターズチアリーディング）
20:00	ご歓談
20:25	中締め 福島県知的障害者福祉協会 副会長 岡崎立郎
20:30	情報交換会終了

【2日目】11月28日（金） 分科会（ビッグパレット：コンベンションホールA、B、中会議室）

9:30	受付
10:00	分科会1・分科会2・分科会3
11:30	昼食
12:30	受付
13:00	分科会4・分科会5・分科会6
14:30	大会終了

【 その他 】

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.